

金星



創立90周年記念

Hands and Hearts are trained to serve.



No.16. 2013年9月15日発行

啓明学院同窓会

蒔かれた種は育ちたり

同窓会会長 17回生 笥^{かけひ} 伸子



金星会会員
の皆さまには、
皆さまからの
平安の内にお
健やかにとお
ごしのことと
存じます。

の人につながってれば、その人は豊かに実を結ぶ」(ヨハネ15・5)と言われました。宣教師によって蒔かれた種が、主イエス・キリストにつながることで、大きく枝を張り、今日の「啓明学院」という豊かな実を實らせていただいていることを覚えます。

私は佐藤陽子前会長退任に伴い、2012年4月より会長としてご奉仕させていただきます。17回生の笥(旧姓田中)でございます。貧しい器ではございますが、新しく役員になられた方々と共に、母校のために祈り、同窓会の交わりのために仕えさせていただく所存でございます。今後とも皆さまのご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。

同窓生の皆さまも是非母校を訪れて、素晴らしい自然環境と整えられた諸施設・設備の中で、後輩たちが生き生きと学院生活を楽しんでいる姿をご覧いただきたいと思えます。

母校は今年創立90周年を迎えます。その昔、日本の地に主イエス・キリストの福音を伝えるために、太平洋の海原を遙々渡って来られた宣教師の篤き信仰と祈りによって始められました。そして、

先日、学院近隣にお住まいの大学時代の恩師に偶然お会いしました時、「啓明の生徒さんはみないい顔をしていますね」とのお褒めの言葉をいただきました。生徒一人ひとりを愛し、全力を尽くして教育にあたつてくださる尾崎理事長・院長をはじめ教職員の皆さま方のご尽力の賜物と心から感謝申し上げます。

神さまの御導きのもと、激動の時代を、バルモア女子英学院、啓明女学院、啓明学院と、名称とその内実を変化発展させながら今日に至っております。

混迷する社会にあつて、神さまと人に仕えるための人材を育成する母校の上に神さまの祝福がいよいよ豊かに注がれますようにと祈るものでございます。

主イエス・キリストは「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもそ

金星会では、11月30日(土)に総会を開催いたします。一人でも多くの同窓生が集まり、母校の創立90周年を共に祝いしたいと願っております。

輝く創立90周年の啓明学院

同窓会名誉会長 5回生 渡邊 カナコ



12年前の4月、ランバスファミリーの関西学院男子校から啓明女学院に、素敵な養子(ご本人が冗談におっしゃる)を校長としてお迎えしました。当時の今井鎮雄理事長(現相談役)の大英断により、中島貞夫院長を始め理事の皆様、関学関係者各位のご尽力を得ての強い要請に、尾崎八郎関学中学校長が要職を投げうって、啓明に風雲児の如く、日本経済不況、少子化加速の影響で斜陽の啓明中学校の再建の大改革に乗り出して下さいました。しかも多額の持参金を携えてです。何と、関学の教え子と保護者の方達の「尾崎八郎先生を励ます会」から自発的に4回に亘つて、又関学の中高育英会、社会科有志、友人、教え子有志から、そして先生ご自身は約340万円、計2010万円が啓明の80周年記念募金に寄付されたのです。私達はこのことを5年後に知ったのです。

この12年間、ミッションスクール、私学教育に揺るぎない哲学をお持ちの稀有な人・尾崎先生の下、教職員の先生方一人丸となって燃え、女学院の美しい伝統を守り、私学サバイバル時代の趨勢に因應して、共学化、人格形成のキリスト教教育の更なる実現と記念事業の達成に心血を注いでこられました。その成果は目を見張るばかり、詳しくは当会報をご覧下さい。何よりの実りは、心身共に美しく逞しく育っている、私達の誇りである中高

の生徒達です。彼等は礼儀正しく明るく、夢と希望へのチャレンジヤーであり、祈り、愛と奉仕の精神を体現し、世界に通用するグローバル人を目指しています。育友会も啓明を愛して下さり、卒業後の育友会「校友会」が発足し、文化祭等諸行事に参加、喜んで支援して下さいます。或るお母様が「啓明は私の母校のように思われます」と、私におっしゃったのです。

「啓明学院は今や知・徳・体・聖の教育、豊富な施設設備等、全ての面で全国の私学のお手本ですね」と、黒瀬真一郎広島女学院理事長・院長(啓明学院理事)が私達におっしゃっていました。どなたでも、3日間啓明を見学して下さい、同じ思いで納得なさるでしょう。

30年前の創立60周年の年、モース・サイトウ名誉院長、宮崎明治理事長が、今井鎮雄Y.M.C.A.総主事(現相談役)、河上民雄先生のご協力を得て、須磨横尾の地に校舎新築移転の大偉業を成し遂げられ、啓明の積年の夢が遂に叶ったのです。

私達は、今日の啓明の大きな礎を築いてこられた、歴代の理事長、院長、校長、教職員の先生方のご功績を讃え、心からの感謝を捧げます。

私達同窓生も微力ながら、愛する母校と育ち行く後輩達の為に協力、ご奉仕させて頂きましょう。啓明の祈り、愛と奉仕の精神とは、神のみ心に添って何事も惜しみしないことです。物心体あらゆる面に於いてです。大小は問題ではない、日常生活何処でも分に応じて出来ることなのです。神から愛される人に少しでも近づけるよう、努力しましょう。

私達同窓生も微力ながら、愛する母校と育ち行く後輩達の為に協力、ご奉仕させて頂きましょう。啓明の祈り、愛と奉仕の精神とは、神のみ心に添って何事も惜しみしないことです。物心体あらゆる面に於いてです。大小は問題ではない、日常生活何処でも分に応じて出来ることなのです。神から愛される人に少しでも近づけるよう、努力しましょう。

私達同窓生も微力ながら、愛する母校と育ち行く後輩達の為に協力、ご奉仕させて頂きましょう。啓明の祈り、愛と奉仕の精神とは、神のみ心に添って何事も惜しみしないことです。物心体あらゆる面に於いてです。大小は問題ではない、日常生活何処でも分に応じて出来ることなのです。神から愛される人に少しでも近づけるよう、努力しましょう。

私達同窓生も微力ながら、愛する母校と育ち行く後輩達の為に協力、ご奉仕させて頂きましょう。啓明の祈り、愛と奉仕の精神とは、神のみ心に添って何事も惜しみしないことです。物心体あらゆる面に於いてです。大小は問題ではない、日常生活何処でも分に応じて出来ることなのです。神から愛される人に少しでも近づけるよう、努力しましょう。

創立90周年を迎えて

啓明学院理事長・院長 尾崎 八郎



パルモア女子英学院として設立された我々の学院は幾多の喜びと苦難を経て、今秋10月17日に創立90周年の記念感謝礼拝を行います。記念講演をして下さるは、正にこの時代を生きてこられたランバス・ファミリー校の大先輩日野原重明先生です。嬉しい事です。

さて、我々の学院は昭和20年10月には『教育勅語ノ聖旨ヲ奉載シ中等学校令ニ準拠シ女子ニ実業教育ヲ施シ併テ婦徳ノ涵養ヲ図リ以テ皇國ノ負荷ニ任ス可キ女子ヲ錬成スルヲ以テ目的トス』と財団法人を設立している。昭和22年には新制中学校、同23年には新制高校となり、昭和26年に学校法人啓明女学院となって『教育基本法及び学校教育法に従い基督教主義による私立学校を設置することを目的とする』ことを認可され、キリスト教主義に立つ学校であると建学の精神を再確立しました。その間創立の初代院長で

あったG・C・ハランド先生の日本への再帰任があつたが、本学院にお迎えすることは出来ませんでした。

平和国家の建設を国是とした戦後日本は、経済復興と生徒急増期を迎え、私学教育もキリスト教的価値観と英語教育への追い風を受けて隆盛に向かうかに見えました。しかし、経済発展の下向、少子高齢化問題、最近では公立高校無償化県下5学区への編成替え、学科制コース制の増大、国際的人材の育成、教材教具の変化等々、一挙に課題が積み上げられることになり、定員割れ私学は当たり前という現状になってしまいました。我々の学院は存立に係わる困難を抱えてはいますが、今の時に建学の精神（使命）に立って、日本語日本文化を土台とする国際校の実力を持つプレップ・スクールになろうとしています。関西学院との高大連携教育、広島女学院との平和学、パルモア学院との英語教育協定もその一歩でしょう。喜び悲しみを人々と共有し、逞しく学びに行動に挑戦する生徒が育つ学院でありたいものと願っています。

90周年そして、これから

啓明学院 校長 藤本義和



啓明学院が創立90周年を迎えることを喜びたいと思います。1886年に創設

されたパルモア学院に起源を持ち、1923年パルモア学院女子部創設以来、パルモア女子英学院、啓明女学院と名前を変えながら女子教育を推し進めてきました。2001年関西学院との間に協定を結び、翌2002年ランバスファミリーの精神を継ぐ中高一貫校として、啓明学院が誕生しました。

当時、学院には特色ある教育を展開するための施設・設備がまだまだ不十分でした。しかし、できたばかりの共学部と女子部に集う生徒たちは、時代と社会の要請に応えようとする夢と設計図を持つた学院を再興しようという希望にあふれていました。生徒、保護者、同窓、教職員が心と力を合わせて、当時の尾崎校長の下で「みんなで自分たちの学校を育てよう」という共通認識を持ち、一步一步実現させて来ました。

多事多難な時代を乗り越え、学院が今日に至るには、目に見えない神の支えと導き、そして多くの先輩たちの祈りや働

きがありました。本校の輝かしい伝統は、その折々に関係の方々が心を尽くし、力を尽くして築きあげてこられた結果であると感謝しています。

学校にはそれぞれ独自の雰囲気があります。それは立地する地域、校舎や校庭のたたずまいと、その学校の教育の営みに由来するものが合わさって醸し出されるものです。啓明学院には、学院を愛してくださる地域の人々の心と、教育に情熱を傾ける教職員、生徒、保護者、同窓など啓明に連なる全ての方々の心が映されているのではないかと思います。

同窓の皆様には、このような歴史と伝統の中で学べたことを誇りに思い、それぞれの分野で大いに活躍されることを心から期待しております。また、後に続く後輩たちには、キリスト教主義に基づく人間教育という建学の精神に立ち返り、自己中心ではなく他者とともに生きることのできる、リーダーシップとメンバースhipを兼ね備えた国際感覚を持った人間として羽ばたいてもらいたいと思います。

今後も、教職員一丸となって本校発展のために取り組んでゆく覚悟でございます。心よりのご支援をよろしくお願いいたします。

～啓明女学院から啓明学院へ～

- (平二五) 第二啓明寮竣工予定
- 2013 自然科学棟の増築
- (平二四) 啓明寮の竣工・三合庵の竣工
- 2012 和道教室の竣工
- (平二三) 合宿研修所の竣工
- 2011 前島学舎改修・増築
- 制服が新しくなる
- (平二二) チャペル20ストップパイプオルガン設置
- 尾崎八郎理事長・院長就任
- 2010 啓明今井会館完成
- (平二一) モース・サイトウ名誉院長逝去
- 2009 啓明寮完成
- ヨット部全国優勝
- (平二〇) 第1図書室改修・増築
- 2008 情報教室を改修
- プールにエアドームを設置
- (平一九) トレーニングルーム完成・チャペル増築
- 2007 小型パイプオルガン購入
- (平一八) 法人名を学校法人啓明学院に名称変更
- 2005 創立八十周年を祝う
- (平一五) 第2体育館新築
- 2003 宮田満雄院長就任 前島学舎開設
- プール新設 第2グラウンド整備
- 土曜選択講座(サタデーカレッジ)開講
- (平一四) 啓明学院中学校第一回入学者数 男子57名 女子52名
- 2002 中島貞夫院長退職
- 創立八十周年記念募金活動開始
- 夏制服変わる
- 食堂新設
- 啓明学院の校章が決定される
- 啓明学院大学継続中学校(男女共学)として募集開始
- 啓明学院中学校を啓明中学校に改称し、
- (平一三) 啓明、関学協議会及び締結発足
- 2001 祢津茂實校長退職、尾崎八郎校長就任
- サッカー部全日本高校女子選手権大会2度目の優勝
- (平一二) 放送部NHK学校放送コンクール全国大会優勝
- 2000 関学、啓明との協議会
- (平一一) 関西学院大学との指定校推薦入学制度設ける
- 1999 パルモア学院、聖和大学、啓明女学院)
- (平一〇) ランバス関係姉妹校間協定締結(広島女学院、関西学院、
- 1998 黒川行信校長退職、祢津茂實校長就任
- (平九) サッカー部全日本高校女子選手権大会初優勝
- 1997 特進クラス発足
- (平八) 中島貞夫院長就任
- 1996 阪神淡路大震災 校舎被害少々 入学学力試験実施せず
- (平七) 1995 モース・サイトウ院長辞任 今井鎮雄院長就任 黒川行信校長就任
- 1994 (平五) 1993 創立七十周年を祝う



第三代院長 飛田昌久



第四代院長 本城敬三
第三代理事長



第五代院長・第四代理事長
モース・サイトウ



第六代院長 今井鎮雄
第六代理事長



第七代院長 中島貞夫



第八代院長 宮田満雄



サッカー部全国優勝2回



高校生 中学生
(冬服)

新しい制服



シンガポール修学旅行



クリスマスイルミネーション(チャペル)の外観



パイプオルガン

写真で見る母校90年の歩み

- (昭 六〇) 日棟完成(3階建 8教室 1ホール)
- (昭 八五) 神戸市建築文化賞受賞
- (昭 八八) 創立六十周年を祝う 記念誌 Sixty Years of Memories 発行
- (昭 八三) 新校舎完成し竣工式を挙げる
- (昭 五七) 旧南校舎を売却、新校地にて起工式を行う
- (昭 五二) 旧南校舎を売却、新校地にて起工式を行う
- (昭 五〇) 理事会にて、神戸市須磨区横尾に校舎全面移転を決定
- (昭 四九) 本城敬三院長辞任、モース・サイトウ院長就任
- (昭 四八) 創立五十周年を祝う。記念誌 Fifty Years of Memories
- (昭 四七) 飛田昌久院長、逝去される。本城敬三氏院長就任
- (昭 四二) 小豆島の内海町西村小学校を夏期校舎として借入れる
- (昭 四一) 専攻科新設(モース・サイトウ科長)
- (昭 四〇) 北校舎2号館(鉄筋3階建) 新築
- (昭 三九) 記念誌 Forty Years of Memories が発刊される
- (昭 三九) 創立四十周年を祝う。学院歌「啓明」誕生 (作曲…河上敬三)
- (昭 三五) 生徒数増加に伴い南校舎(旧セントマリア校)を購入
- (昭 二六) 北海道への修学旅行が開始される
- (昭 二二) 新制高等学校が認可される
- (昭 二二) ボードから米国宣教師が派遣される
- (昭 一八) J. B. カーブ氏が理事長に就任、米国ミッション
- (昭 一七) 6.3.3制の新学制実施で新制中学校を開設
- (昭 一〇) 窪田学蔵院長辞任、飛田昌久院長就任
- (昭 一四) 終戦 中井一夫氏が学院の再建に協力される
- (昭 一四) 生徒動員のため、ほとんど授業ができない状態
- (昭 一七) 日増しに軍事色こくなるが、毎朝の礼拝は続けられる
- (昭 一六) ハランド女史や全外国人教師が帰国される
- (昭 一六) 「啓明女学院」と改称
- (昭 一五) 敵国宗教、敵国教育との軍部の圧力が強化され、校名を「校歌」がヒルバン師により作詞される
- (昭 一五) 校章及び校色「紫色」が決定される
- (昭 一四) ハランド院長辞任、窪田学蔵氏院長就任
- (昭 一四) 学院創立十周年が祝われる
- (大 一五) パルモア女子英学院より最初の卒業生を送る
- (大 二六) 公式に「パルモア女子英学院」と名称が変更される
- (大 二四) (この年より数えて九十周年)
- (大 二二) ハランド女史パルモア女子部の責任者となる
- (大 一三) 男子パルモア学院のタイプ科に女子の入学が許可される
- (明 一四) (翌年パルモア学院と命名)
- (明 一四) J. W. ランバス師、神戸にて読書館を開設



J.W. ランバス



W.R. ランバス



M.I. ランバス



初代院長 C.G. ハランド



第二代院長 窪田学蔵



初代理事長 中井一夫



第二代理事長 J.B. カーブ



第五代理事長 宮崎明治



黒川行信校長



柿澤茂貴校長



旧北校舎



旧南校舎



パルモア女子英学院第一回卒業式

母校ニュース

フーコーの振り子とは

フランスの実験物理学者 J・B・L・フーコーが1851年に考案した振り子で、地球の自転が単振り子の振動面に与える影響力を調べる装置である。鉛直面内で単振動する振り子では振動面に垂直な方向には力が働かないので振動面が時間とともに変化することはない。これは慣性の法則によって当然であるが、実際は地球上で単振り子を長時間にわたって運動を持続させながら観測すると、この振動面が変わっていくことがわかる。振動面は慣性の法則によってつねに一定に保たれているが地球自身が運動しているから実験室も地球に固定されて運動するので、見かけ上振動面が回転していくように見えるのである。

日本大百科全書より

フーコーの振り子を見ることができるのは、全国内でも東京台東区国立科学博物館、ディズニーシーなど数十ヶ所だけです。兵庫県内ではなかなか見る機会のないものです。

学校にお越しの際には、是非とも自然科学棟1階のフーコーの振り子をご覧になられては如何でしょうか。



自然科学棟外観

- ☆J.W.ランバスチャペルの横に新築されました。
- ☆4つの教室（化学、生物）があります。
- ☆フーコーの振り子が設置してあります。

自然科学棟



フーコーの振り子

三合庵

☆2011年6月に竣工した一隅庵（和道教室）に次いで、2012年8月に竣工されました。

☆茶室に利用します。

☆2014年には庭園が完成する予定です。

台目構（だいめかまえ）

台目構とは、台目切の炉のかどに、中柱を立て、袖壁をつけ、隅に釣棚をしつらえた点前座の構成をいいます。

千利休が大阪屋敷の三畳台目で試みたのが最初と伝えられ、初めて試みたとき、袖壁は下まで壁がついていました。

のちに、客座から道具座が見えるように、袖壁の下方を吹き抜くようになったようです。台目という言葉は、利休の頃には台目とはいわず、単に何畳「半」といわれていましたが、古田織部の頃に「台目」といわれるようになったといえます。

中柱と袖壁によって、点前座が客座から半ば隔てられる構成に特色があります。

三合庵は二枚の本畳と一枚の台目畳がありこのことを二畳台目とよびます。



啓明寮

☆神戸市須磨区多井畑にある合同研修所が、2011年4月に竣工しました。その一向に「祈り、自立、共生」の寮則とする目的で作られました。☆2014年2月（予定）に合同研修所（第2棟）も出来る予定です。



台目畳と由来

「南方録」（九州博多立花家に残る千利休の秘伝書）に本畳（6尺3寸）の内、台子（茶器置台）と風炉屏風の幅1尺5寸を畳目分切除けた畳のこと。

通常では、本畳四分の一だけ切り取ったものです。

この「台目」とは、田一町につき、その収穫の四分の一を税として引き去ることを「代目」といったことから、そう呼ばれているようです。

恩師からのたより

懐かしい先生方

京都文教短期大学教授 千古利恵子

数ヶ月前、一人の女性から「千古先生ですね。啓明で教わった〇〇です」と声をかけられました。卒業後の年数を聞きますと、啓明女学院での生活が随分昔のことだと気付きました。初めて担任をした生徒は40歳をすぎ、啓明女学院を離れた私同様、様々な出会いと別れを経験してきたことでしょう。でも、如何なる経験も―例えそれが、自身が望んでいないことであろうと―「私」を成長させると思います。現在、私は、宇治にある短期大学で、学生の言動に驚愕しながら教員生活を続けていますが、「この世に生を受けた者は、各々が為すべき役目を担っており、その役目は多様であるから、その言動も一律ではない。総てを、あるがままに受け止められるようになることが人としての成長だ。」と自らを戒めています。このような考えは啓明女学院での日々で培いました。私もまた、啓明女学院の同窓生だということです。同窓生のみなさん、今後ともよろしく願います。

山本真規子

金星会のみなさまへ

お元気ですか。このようにお話をさせて頂き非常に幸せです。傘寿も祝って貰い今は米寿に向って一生懸命現役で頑張っております。足を痛め杖がキャリアを頼りに歩いておりますが夢だけは多過ぎて成し遂げる生命力がある心配です。生徒と学校に断腸の思いで別れを告げ、母の使命を継ぐ日本音楽の芸術の世界に入り本年は45周年を迎え、この10月27日に神戸文化中ホールで記念演奏会を開催します。是非来て下さい。受付で名前を書いて入って下さい。大きな会は5年毎ですから最後になつても後悔の無いよう頑張ります。例えば1963（昭和38年）に生徒の熱望で誕生しました箏曲部が次の私の世界を作ってくれたのです。就職指導、タイプ部、箏曲部指導は大変でしたが生徒のお蔭で親孝行が出来、日本の伝統音楽の繁栄に生涯をかける事が出来ました。このように卒業生の皆さんは私が生きてくることが出来た証であり恩人です。又お会い出来る日を楽しみにしております。

退職された先生方

中野 孝



金星会の皆様には、ご健勝にてご活躍のことと心からお慶び申し上げます。先生方や同窓会、育友会の皆様のご協力によりまして生きがいある42年間を過ごさせて頂いたいただいたと感謝しています。啓明学院を退職して早2ヶ月が過ぎましたが、在職中の授業、部活動、学校行事などを懐かしく想い起こしております。現在は退職後の生活リズムも出来、ウォーキングをはじめ映画鑑賞、旅行、ゴルフ等の趣味を楽しみながら自分に出来ることをさがしていきたいと思っております。42年間に卒業した生徒達も何万人を超える数になりました。卒業生の子ども達が啓明学院を目ざし親の母校に憧れる姿は喜ばしさを思いつつ、あらためて月日の流れを実感しています。また皆様とお会いする機会を楽しみにしています。金星会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

国宝隆司



創立90周年おめでとうございます。

私は、2012（平成24年）3月に退職いたしました。今は、幾つかのボランティアと保護司活動をしながらのんびりと過ごしています。

と過ごしています。

陸上競技大会の競技役員として現在も、競技場に行っています。競技場では、卒業生や在校生と会うことがあります。皆さんが頑張っている姿を見ますと嬉しくなります。また、卒業生が自分の子どもの相談で連絡してくれることもあります。いつまでも忘れないでいてくれることは、30数年啓明で教えることが出来たことに感謝しています。

今後は、在職中に出来なかったことや行ってみたい国や都市に向いて行きたいと思いつつ色々な多方面にも目を向けていきたいと考えています。

また、いつか卒業生の皆さんと何処かでお会いすることがあるかもしれません。お元気で。

松永 力



アカロア（'98）、リッジ（'99）、ワンガヌイ女学校（'02）、ニューグレンジ（'03）、ウルル（'04）、クナ遺跡（'05）、ケチカン（'06）、ショースの滝（クロンボー城（'07）、プリンディッシュパトラ（'08）、ブルーラゲーン（'09）、ガスベークベック（'10）、ダニールデン（クイーンズタウン（'11）。

啓明の皆様、お元気でしょうか。またテニス部・映画研究愛好会の諸君も元氣

でやっつてるかい！冒頭から、きつと「？」と思われたことでしょう。これは、1998年に担任を外れたことを好機・転機と考えて始めた私のセルフプラン旅行でポイントとなる印象深い場所です。旅行地・旅のテーマ・現地及び行き帰りの交通機関・現地の宿等を殆ど全て一人で計画し旅するのが私のセルフプラン旅行であり、私はこの旅を1998年以降では2000年と2001年及び退職した2012年を除いて毎年してきました。宿はユース中心に泊まる、旅先ではタクシーに乗らず自転車で鍛えた自分の足で歩き見て回る、訪れた場所に博物館か美術館があれば必ず見学しその地を深く知る等、私なりの旅するポリシーもいつしか出来上がりました。

私は若い頃から世界に強い関心を持っていましたが、1976年より啓明に勤めて以来ずっと教科書等で教えていた事などを実際に現地へ行って自分の目と体で確かめ、それをその後の授業に活かしてみたいと心の奥で思ったのです。それが1988年から始めたこのセルフプラン旅行の最大の目的でした。旅行中にビデオで撮ったものを教室で生徒達に観せて彼等に刺激を与えることも、旅の途上や旅行先で出会った人たちと私なりの英語で交流することもこの旅の目的であり、楽しみでした。

今年は何年のテニス部顧問のM・Mがゴールデンコンビを復活させ、セルフプラン旅行とは少し違ったツイ・インズ旅行でバンクーバー島巡りを計画進行中（ほぼ確定）です。

啓明卒の全ての皆様がいつまでも健康で自分の目ざされる人生を送られることを心からお祈りしています。



三好 洋治
皆さん、お元気ですか。

私は、この春啓明を定年退職し、4月からのんびりと日々を過ごしています。今取り組んでいるものを一言で言えば、「身辺整理」となります。

この先の計画もあるのですが、その前に、「今」身辺整理をしなければ、小生のような人間は一生しないだろうと予測がつくので、最初で最後の「④身辺整理」を行っています。ここ2週間程は「写真の整理」です。時系列に合わせ、整理をしていくのですが、一枚一枚の写真を見ると、つい撮られた頃のことを思い出しばかしくなってしまう。若い頃から多くの人たちに支えられながらもそれに気付かなかった自分を反省し、又、自分の知らないわが子の活躍場面を見ては子育て責任を詫び、若くして逝ってしまった息子の写真を見ては泣けてしまっ

のです。

啓明での写真はたくさんあり、私の人生の重要な部分を占めています。多くの先生方や生徒達との触れ合いをとっても懐かしく想う今日この頃です。

現職の先生方



副校長(中学校野外教育担当)
高橋 健

この度は学院創立90周年、誠におめでとうございます。2002年に永きよき女学院の伝統を引き継いだ共学校として新たな歩みを始め、今年で12年目を迎えております。

この間、皆様のお力添えも頂戴しながら、妙法寺キャンパスの充実に加え、岡山県瀬戸内市前島にキャンプ場を、須磨区多井畑に合宿研修所と寮を開設することができました。

前島での中高オリエンテーションキャンプや小学生対象のアドベンチャーキャンプ、関学の青島をお借りして行う中2無人島キャンプやヨット講習を含む島開きワークキャンプ、クラブやキャンプリーダー、時には集中的な学習のための合宿研修、舎監が苦楽を共にするファミリー的な寮生活等々…。

今後ますます重要になるであろう、集団の中で人と交わる経験や野外も含めた



副校長 櫻間 敏夫
啓明学院に奉職させて

いただいた9年目、啓明の良き伝統を守りながら、グローバル化していく世の変化に伴って変革していく、進化していく学校の歩みに関わらせていただいていることに感謝しています。

キリスト教に基づく建学の精神を大切に、他者を思いやる心を育む。迷える人の隣人は誰なのか。幅広い知識・教養を身につけ、心豊かに神と人に仕えるために鍛えられる。その基盤となる環境が築きあげられつつあります。地域の方々や、関わりを持って下さる方々からおしかりを受けることもありますが、本当にたくさんの方々から啓明学院を応援いただき、心温まる援助をいただいております。

同窓の皆様とともに啓明学院の良き伝統と育みの場を築く中で、啓明学院に連なる人たちの笑顔の花が咲き誇りますように、これからもよろしくお願ひいたします。



齋藤 唯元

啓明学院が、創立90周年を迎えられたこと

は、誠に喜ばしいことであります。金星会の皆さまにとっても誇らしいことだと思います。

私も、本学院にお世話になって、今年で37年目を迎えました。部活動の指導を振り返ってみますと、新任の際に卓球部の顧問を1年間させて頂いたとき、その後ソフトボール部の顧問を、14年間させて頂いたとき、現在サッカー部の顧問をさせて頂いておられます。全国優勝を2度も果たした女子も、一時は部員が数名になり、存続の危機にありましたが、現在は高校生11名、中学生5名まで復活してきました。男子部員も、中学生、各40名ぐらいおり、昨年4月に張り替えられた、素晴らしい人工芝のグラウンドで毎日練習に励んでおります。今月還暦を迎えます私も部員達と一緒にサッカーを、楽しんでいきます。なかなか、勝利をおさめることは困難ですが、男女ともに徐々に力をつけつつあり、今後の活躍が楽しみです。同窓会の皆さまもご健勝で益々活躍ください。



岩宮 節子

金星会の皆さんお元気ですか。月日の経つ

のは本当に早いもので、啓明での教員生活も今年で40年になります。その間にはたくさん卒業生の皆さんとの出会いがありました。一緒に過ごすことが出来たことは感謝であり、私にとって宝物になりました。

振り返って見ると、40年の間にはいろいろなことがありました。大学を卒業して、ご縁があり啓明女学院との出会いがありました。三宮での北校舎、南校舎に別れての授業や、王子競技場での体育祭など今でも懐かしく思い出されます。そして結婚……仕事と家庭を両立しながら保育園に預け、小学校に入学すると学童にお世話になり、2人の子供を育てました。子供も現在34歳と29歳になり、それぞれが家庭を持ち、3人の孫にも恵まれました。

1983年に横尾に校舎が移り、2002年には啓明学院として共学校になりました。それから12年が過ぎ、今年度は高校3年生の学年主任をしています。毎日、生徒さんとの関わりは楽しく、いつも元気をもらっています。

啓明学院は今年90周年を迎えます。パルモア女子英学院の時代からキリスト教

主義の学校として、建学の精神を基盤に発展して来ました。いつも神様に見守られながら、啓明学院には、たくさんの方の生徒さんの明るく生き生きとした姿があります。こんなに素晴らしい学校で、生徒の皆さんの成長に関わることが出来たことは、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

金星会の皆さん、これからも啓明学院の卒業生として、また啓明ファミリーとして、それぞれの場所で元気に活躍されることをお祈りしています。母校はいつも皆さんのお越しをお待ちしています。



田村 亘

創立90周年、おめでとうございます。

1977年に啓明学院にお世話になり、37年目を迎えました。モース・サイトウ先生、松尾先生、竹内先生、石山先生、松井先生を始め、お世話になった多くの先生方。また、クラブ活動で子ども達と共に温かく見守ってくださった管理の斉藤さん。学院でお世話になった多くの先生方が走馬燈のように懐かしく思い出されます。また、南北校舎時代の短時間での校舎移動。王子競技場での体育祭。国際会館での文化祭。沢山の思い出が詰まった旧校舎での学校生活でした。校舎の移転、学院の共学化という転機を共に経験

させて頂きましたことも大きな喜びです。悲しいこともありましたが、楽しいことの多かったこれまで、今も若い力を感じたい、年齢を感じることなく学校生活をエンジョイ？させて頂いてお

ります。今後も「啓明学院の思い」を胸に、ご活躍されますことをお祈りいたしております。

新任の先生 近況報告



保健体育科 中西 祐介

いつも大変お世話になっております。保健体育科の中西祐介です。今年度より教員生活2年目を迎えました。また、今年から新たに中学2年A組の副担任も経験させて頂いていただくことができ、学級経営について勉強する日々を過ごしています。私も中学2年生も、啓明での生活を2年目にして色々なことを経験し慣れてきた時期だからこそ、気を抜かずお互い引き締めたいと考えています。そして昨年より指導をしている高校サッカー部においてはチームと生徒たちを心・技・体・生活の4つの面から鍛え、目標と目的の達成に向けて今年も頑張りたいと思っております。

自分の出来る事を日々全力で取り組み、生徒と共に成長していきたいと思

逝去された先生



故 武井勝則先生

2011年1月15日午後3時55分、武井勝則は52歳で、神様のもとに旅立ちました。

1989年に結婚、子どもは無く、夫婦＋犬で過す日々が、この先ずっと続くと思っていた私にとって、今も体の一部を失った様な思いが拭いきれずにいます。きっかけは、2009年末に腰を痛めたことでした。通勤の運転と立ちっ放しの授業で無理があった上、病院にも行かずに過したためか、翌年5月に悪化、近くの病院に入院、その際の血液検査に心配な数値が出たため改めて精密検査に行くと「下咽頭癌」が発覚。7月のことでした。講師をしていた2つの学校を1学期末で辞し、8月に大病院に入院、9月13日に癌を声帯ごと切除、その日から声を失い、筆談とメールの日々が始まりました。手術は成功し、「早く退院したい」と張り切っていたのですが、11月末

から熱が続き、12月6日の誕生日には感染症があるらしい、とのメール、その日からメールの返信もすぐには来なくなり、13日に病院から「急変、ICUへ」との連絡が来て以来、薬で眠っていることが多くなりました。彼は「最後まで頑張りたい」と言っていたのですが、医師からは難しいと告げられ、年が明けて1月15日朝、中学入試の仕事をしていた私の携帯に「危険です、すぐ病院へ」との連絡が入り、15時55分、最後の呼吸が止まり、人工呼吸器の電源が切られました。死因は「癌」ではなく「腹膜炎」と「敗血症」の診断でした。

自覚症状はあったと思います。けれど、講師の立場で穴はあけられない、と無理をする彼を止められなかったこと、そしてもし「あの」時、夫ではなく私が啓明を退職していたら、夫は死なずに済んだのでは、とか病院でもっと一緒に過せば良かった、とか、今も後悔ばかりの毎日です。2003年に啓明を退職し、母校を中心に講師をしながら、最後はその母校八代学院と、愛する啓明で教壇に立てたこと、とても喜んでいました。おそろく、心残りもいっぱいあったことでしょう。

今、第2体育館横に、1本のユーカリの「大木」があります。彼が教え、その翌年に私が担任をした学年が、卒業時に



(ユーカリの木)



武井裕賀里

「ゆかり」ユーカリ繋がり」と私に贈ってくれた小さな鉢植え、それを彼が丹精こめて育て上げ、生長したので学校に植えさせていただいたものです。グラウンドの柵に沿って歩くたび、生長を続けるユーカリを見上げて、彼の思いがそこにも込められているのを感じています。前夜式・告別式にかけて下さった皆様には心から感謝しています。連絡できなかつた同窓の皆様、ごめんなさい。啓明を訪れ、ユーカリを見上げ、夫のことを思い出していただけたら、と願っています。半分愚痴の様になってしまいましたが、生前の武井勝則の姿・声をいつまでも心に刻んでくだされば、と思います。

退職された先生方

長い間お世話になり

ありがとうございました

2011年度

事務 小沢俊朗さん
 社会 松永 力先生
 数学 中原圭恵先生
 保体 国宝隆司先生
 理科 中山彰平先生
 養護 田村美佳先生

2012年度

保体 中野 孝先生
 国語 郭 賢鶴先生
 英語 リチャード デラ先生
 理科 足立明子先生
 英語 三好洋治先生
 英語 佐藤(小川) 裕子先生
 保体 半田 航先生

2013年度年間テーマ

United together
 in Christ

2013年度年間テーマ聖句

これらすべてに加えて、
 愛を身に着けなさい。
 愛はすべてを完成させる
 きずなです。

コロサイの信徒への手紙3章4節

母校年間行事2013

- 4月1日 中学入学式
- 4月2日 高校入学式
- 4月4日～6日 中1前島オリエンテーションキャンプ
- 4月6日～8日 高1前島オリエンテーションキャンプ
- 4月11日 中学・高校始業式
- 5月13日 体育祭
- 7月19日 終業式
- 7月22日～28日 海洋冒険キャンプ
- 8月15日～27日 青島キャンプ
- 9月5日 始業式
- 9月24日～28日 中3修学旅行
- 9月25日～30日 高2修学旅行
- 9月28日 第1回高校説明会
- 10月5日 第1回中学説明会
- 10月12日 第2回中学説明会
- 10月17日 創立記念礼拝
- 10月18日 創立記念日
- 11月9日 文化祭・ホームカミングデー
- 11月16日 中学説明会第3回
- 11月22日 高校説明会第2回
- 12月19日 クリスマス礼拝
- 12月20日 終業式
- 1月8日 始業式
- 2月7日 啓明マラソン
- 2月15日 高校卒業式
- 3月14日 中学卒業式
- 3月19日 終業式

2011年度 高校卒業生の進路状況

(卒業生…2003名)

(1) 関西学院大学へ継続校推薦入試で進学した者…194名

*各学部への進学者数は左表の通り

神学部	0名	法学部	21名	総合政策学部	20名
文学部	9名	経済学部	30名	理工学部	12名
社会学部	29名	商学部	33名	人間福祉学部	14名
教育学部	12名	国際学部	14名		

(2) 継続校推薦を辞退し大学・短大等へ進学する者…7名

*主な進学先

- ◇防衛大学校 ◇国際基督教大
- ◇上智大 ◇青山学院大 ◇立命館大
- ◇神戸薬科大

2012年度

高校卒業生の進路状況

(卒業生…2007名)

(1) 関西学院大学へ継続校推薦入試で進学した者…195名

*各学部への進学者数は左表の通り

神学部	0名	法学部	6名	総合政策学部	21名
文学部	14名	経済学部	30名	理工学部	20名
社会学部	34名	商学部	33名	人間福祉学部	12名
教育学部	10名	国際学部	15名		

(2) 継続校推薦を辞退し大学・短大等へ進学する者…5名

*主な進学先

- ◇京都大 ◇神戸大 ◇神戸市看護大
- ◇国際基督教大 ◇明治大

(3) 継続校推薦を辞退し就職する者…1名
◇ヴァンセル神戸(リーグ・プロサッカー選手)

クラブ活動報告

水泳部

第29回日本身体障害者水泳選手権大会

100m自由形 第1位(大会新)

200m自由形 第1位(大会新)

Sr.3 梅野 裕理

第67回国民体育大会

第12回全国障害者スポーツ大会

25m自由形 第1位(大会新)

50m自由形 第1位(大会新)

Sr.3 梅野 裕理

放送部

第60回NHK杯全国高校放送コンテスト

兵庫県大会

朗読部門 Sr.2 田中 翔子

ラジオドキュメント部門

Sr.3 鏝坂文菜、中畑萌奈美

テレビドキュメント部門

Sr.2 山本真菜、岡部真由子

田中翔子、泉 佑紀

3部門で入選し、全国大会出場決定

◇学校賞を受賞

◇アナウンス部門 「優良賞」

◇研究発表部門 「優良賞」

Sr.3 中畑萌奈美

Sr.3 鏝坂文菜

Sr.1 中川香穂利

宇野秀歌

【住所変更通知】お願い

住所変更の方はいつでも迅速に、啓明学院内「金星会」宛に、ハガキが
TEL 078-741-1506
FAX 078-741-1512 または
E-mail (kinseikai@keimei.ed.jp) にお知らせ下さい。
〔〇回生又は〇年3月卒 氏名(旧姓) 〒住所・電話番号〕

個人情報の取り扱いと保護について

- ・ご提供いただいた情報は機密扱いとし、同窓会会員の管理、同窓会報・総会案内などの金星会からの発送物及び同窓会名簿の発行を含む同窓会の運営に役立てる目的のみに使用します。
- ・金星会では、会員以外の第三者に個人情報の提供を行いません。

生徒会より

東日本大震災募金へのご協力をお願い

啓明学院高等学校・中学校生徒会は「東日本大震災」災害支援のために2011年3月14日より「啓明学院東日本支援ボランティア」を組織し、活動を始めております。

毎月11日を「支援募金の日」として、生徒会役員を中心に活動中です。この計画募金を継続したプロジェクトとして行っていますので、ご支援よろしくお祈いします。

振込先

みなと銀行 横尾支店
普通預金口座：1847866
口座名義：啓明学院生徒会募金口
尾崎八郎
☆氏名(旧姓名)、回生、住所の記入
お祈いします。

「幸せな繋がり」

7回生 高瀬 佳子 (旧姓：橋本)
 中学3年 高瀬 葵子
 中学1年 高瀬 礼子

転勤族の息子が神戸から遠く離れた地で2人の娘に恵まれ、その彼女達がまさか神戸の私の母校に入学を許されるとは思ってもいない事でした。長女が上海で6年生になり、シンガポールで受験させていただきました。でも、帰国後の勤務地がどこか分からない時期で心配いたしましたが、幸い大阪に決まり、啓明との強い絆を感じました。今年、次女も続いてお世話になる事ができ、大変幸せな事と喜んでます。私が入学しました



1950年（昭和25年）ごろの啓明と孫達が通学しております現在の啓明とは随分異なり、60年余りの隔たりを超えて、夫々に、違った価値観を持って啓明を誇らしく思っています。近くに住んでいる孫達に会う機会は頻繁にはありませんが、会うと啓明の話になりよく通じあえて楽しい会話になります。孫達と校歌や学院歌と一緒に歌えるなんてなんと嬉しい事でしょう。啓明で一番大切なものを身に付けて、我が家では4代続く関西学院へ繋がって行ってほしいと思っています。

「母から娘へ」

17回生 築田まち子 (旧姓 岡田)
 52回生 築田 朋子



金星会会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。90周年記念同窓会報の一部を私たち母娘が担当させて頂けることに感謝いたします。

母は17回生、私は52回生で、共に中学から6年間を啓明で過ごしました。母は社会人となり、様々な場面において、啓明で学んだ精神が役立ったそうです。私にも同じ経験をして欲しいという母の強い勧めがあり、私は啓明に入学しました。

卒業後、短大から大学へ編入、2度の転職

を経て現在に至りますが、私も啓明で学んだ経験を活かし、当事者意識を忘れず、思いやりを持つことを常に心がけて勤務しています。

今は母と娘で週末は食事や買い物へ行ったり、年に数回は旅行へ行ったりと、2人仲良く生活しています。また、お互い啓明で出会った数多くの友人と現在も交流が続いています。

親子共々、中学・高校の6年間を啓明で過ごせて良かったと思っています。

啓明はふるさと

19回生 梅岡寿美子 (旧姓 和田)
 中学2年 梅岡 龍吾

孫はタッチフットボール部で毎日、整備された人工芝のグラウンドで元気よく練習しています。一生懸命出来ることがあることを嬉しく思い、私も幸せにさせてくれています。

私が学んでいた50年前は設備の面では貧しいものでした。その中で誇れることは、中学1年から米国人の宣教師による英会話の授業が週2時間あり、きれいな発音の英語教育を受けることが出来たことです。また中3の時に、六甲学院から増田伊太郎先生、杉山敬一郎先生が来られ、啓明のキリスト教教育と共に、六甲の訓育指導を受けることが出来たことです。増田先生自ら便器を雑巾がけされた姿は今でも目に焼きついています。心静かに自分を見つめる瞑目という時間もありました。また炎天下で手を高く振って増田先生の号令に合わせて行進の練習、狭い運動場を何周も回りました。

時代が移って今はすべてが豊かになっていますが、孫達は毎日、7時限目に、全校生徒で学校の外周を走って身体を鍛えている様です。私が啓明ですばらしい先生方と出会い、また、生涯の友を得た様に、孫にもこの6年間で宝物となる様、心と身体を鍛え、大きく成長してゆけることを願っています。



「OGの母として」

40回生 松尾 薫 (旧姓 山崎)
 高校1年 松尾 誠悟

このたびは90周年、おめでとうございます。このような記念すべき時にお言葉を述べさせていただくことは、今後の私にとって忘れられない感慨深いものとなるでしょう。

90年という大きな流れの中で様々な苦難を乗り越え、今の啓明学院があります。そして、その中に私の過ごした少しの時間があります。礼拝での讃美歌、聖書の言葉は当時は深く理解していませんでしたが、母親となった今では、謙虚に受けとめることができ、言葉は心に響いてきます。

現在、学院で過ごしている息子に長年受け継がれてきた「建学の精神」はどう届いているのでしょうか。どんな環境にあっても感謝を忘れず、他者を思う気持ちを持ち続けて欲しいと願います。多感なこの時期に学院で過ごしたことは、息子の今後の人生において意義のあるものと確信しております。

最後になりましたが、啓明学院の今後の益々のご発展をお祈りし、お祝いの言葉とさせていただきます。



同窓会だより

● 啓明女学院5回生



5回生クラス会 2012.5.16 於 第一樓

● 啓明女学院13回生

「古希+one」

澤田（江藤）佐紀子

五月晴れの、2013年5月16日、思
い出深いオリエンタルホテルで、島先生、
山本先生、高瀬（橋本）先生、小林（吉
田）先生、西川（高橋）先生、佐野（渡
辺）先生をお招きして、1年遅れの「古希
+one」13回生の集いを開催しました。
母校、啓明で思春期を過ごし、青春へ
のスタートを切り、今日まで色々な歩み
をして来ました。埼玉、東京、川崎、横
浜からもなつかしい友が集い、校歌を合
唱すると、あっ！という間に18歳の高校

生に戻りました。

テーブルマナーを教わったオリエンタ
ルホテルで、先生方が、50数年前の写真
をお持ち下さり、啓明時代のお話には、
感無量であり、実りの多い一日でした。

先生方のお若いのに驚き、同級生のか
わいらしさ、美しさにも驚きました。
「現状維持を保ちつつ、古希プラスを重
ねて行きましょね」と約束し、院章の
入ったクリアファイルを手には散会しまし
た。

（尚、今回の会の残金は、創立90周年記
念募金に寄附をしました。）



「古希+one」啓明女学院 13回生の集い May16,2013 於オリエンタルホテル

● 啓明女学院14回生

14回生「三一会」 最後のクラス会

幹事 小河（染矢）八重
田中和子

1956年（昭和31年）に啓明女学院
中学校に入学した私達は、途中で転校し
た人、途中から転入して来た人と共に
「三一会」として、高校卒業以来51年に
渡りクラス会を続けて来ました。今回古
希を迎え、北野六甲荘に於いて、最後の
クラス会を開催しました。

称津先生・山本先生・高瀬先生のご出
席のもと22名の参加で久しぶりに学生に
戻り楽しい1日を過ごす事が出来ました。
古希を迎えても、逢えば何時でも「昔の
お嬢さん」に戻ります。お元氣な先生方
とお会いできて、とても、うれしかったです。
今後は、「金星会」の総会で逢い
ましょう！と解散いたしました。



14回生 啓明三一会

● 啓明女学院19回生

19回生同期会

梅岡（和田）寿美子

2013年（平成25年）5月19日（日）
12時、三宮のグリーンヒルホテルにおい
て総勢45名の集まりを持ちました。称津
茂實先生、上村嘉夫先生、高瀬佳子先生
3名の先生方にご出席いただき、喜びも
ひとしおで、そのお元氣なお姿や言葉
で、私達も元氣をいただくことが出来ま
した。北海道、東京、横浜、山口、岡山
四国、ハワイと遠方からも出席して下さ
り、卒業後、初めてという懐かしい顔
もあり、タイムスリップして女学生気分
になり、楽しい幸せなひとときを過ごす
ことが出来ました。讚美歌から始まり、最
後に学院歌「啓明」、「また会う日まで」の
讚美歌で終わるまでのあつという間の3
時間でした。

私達も今年で65歳で、残りあと何年か
らという年齢になりましたが、残りの時間
を大切に、それぞれの立場で、もうひと頑
張りしようねと約束し、散会となりました。



19回生同期会

● 啓明女学院20回生 ●

「乙女会」

上 埜 育 代

2012年(平成24年) 10月21日(日)
ダイナミックキッチン&バー 燦(交通セン
タービル内)にて

秋たけなわの10月に、山本真規子先生
佐野美智子先生を迎え、福岡県、神奈川県
よりかけつけてくれた友を含め、18名の
参加で、第2回「乙女会」を開催しました。
一人一人のコメントと、昔話に花が咲
き先生方を交えて、なつかしく、楽しい
ひとときを過ごすことができました。

学生時代には、話す機会がなかった
方々とも、時を越え、旧交を温めること
ができ、有意義な一日となりました。

2013年度は、啓明学院創立90周年
を迎えるということで、11月30日(土)、
ホテルオークラで同窓会が行われると聞
いています。創立90周年で、再び会う約
束をして、閉会しました。

これからも、母校の益々の発展を、楽
しみにしております。

ご参加いただきました先生方、ありが
とうございました。



● 啓明女学院26回生 ●

立 岩 (駒 田) 晶 子

2006年(平成18年) 2月に、佐野
美智子先生の古稀のお祝いでクラス会を
開催してから6年ぶり、昨年11月祝日に
さの組クラス会を開きました。

1974年(昭和49年)に卒業した私
達も57歳に、独身現役で頑張っている人
子供達が結婚し、孫さんが出来たり、ま
た両親の介護をしたり、いろいろな事情
で参加出来なかったクラスメイトもいま
した。今回のクラス会は、佐野先生の初
孫ちゃん誕生という大変嬉しいお知らせ
サプライズがありました。またいつまで
もお元気で、大きな目をクリクリ、公私
共に活躍されている波戸岡先生(海端)
も毎回参加して下さい、賑やかな宴とな
りました。

私達の啓明女学院時代は、南校舎、元
町に北校舎があり、伝説の「まっさん」
増田先生が檄を飛ばしご健在の頃で、木
造の由緒ある校舎をピカピカに磨き上げ
て院長先生に誉めて頂いたなつかしい思
い出があります。授業の始まる前におか
きを食べて、教室中においブンブンでも
そ知らぬ顔で英語の授業を受けていた話
や、新任の先生を困らせたり、男の先生
に憧れ思いつめていた懐かしいあの頃
そんな思い出話に花が咲きました。そし
て神戸在住の人が多いので、あの阪神淡
路大震災の時の話から、東北大震災の事
環境の変化や自身の体調の事、介護の話
と、話はつきませんでした。

次回は、節目である還暦を迎える年に、
みんな元気で集まりましょうと、帰路に
つきましました。

● 啓明女学院49回生 ●

神 谷 (上 岡) 久 美 子

北 川 未 来

2013年(平成25年) 3月31日に、
三好先生の慰労会と同窓会を無事に終え
ました。

久々に集まった啓明時代の仲間として
も有意義な時間を過ごせて、本当に楽し
かったです。啓明時代の楽しい思い出
で皆盛り上がり、とてもなつかしかったです。
これを機に、また近いうちに集ま
ろう!!と早速、次の計画を立てています。



2013年度 金星会役員紹介

名誉会長 渡邊カナコ (旧姓 渡邊) 5回生
相談役 高瀬 佳子 (旧姓 橋本) 7回生
会 長 笥 伸子 (旧姓 田中) 17回生
副 会 長 中岸 圭子 (旧姓 正垣) 32回生
書 記 橋本 泰子 (旧姓 小村) 45回生
書 記 山本真梨恵 (旧姓 藤田) 学1回生

会 計 野々山陽子 (旧姓 角谷) 19回生
会 計 近藤 恵子 (旧姓 山下) 25回生
会計監査 猪口 陽子 (旧姓 岩崎) 31回生
会計監査 坂東 薫 (旧姓 吉川千香子) 35回生
同窓会係 沖花 玲子 26回生
同窓会係 田中 優子 28回生

二十歳の会

50周年

井上めい

私達、啓明学院第5回卒業生は、成人の日を迎えて一年経ち、時の流れの早さを身に沁みて感じております。少し前の事であるのに遠い昔のことのように感じるのは、それだけ毎日が充実しているからでしょうか。卒業してからそれぞれの道を歩み始めてからも、どこか十代の甘えを持ちながら生活してきた私達は、二十歳という節目を迎えてからは、自己責任の元で決断し、行動し、道を歩むこととなりました。社会で「大人」と見なされる年齢を迎える節目の日、緊張と高揚した気持ちで迎えました。

啓明学院第5回二十歳の会は多くの方のご協力とご支援の元、神戸で名高い中華料理専門店、第一樓さんで行うことが出来ました。私を含め幹事のメンバーは、久しぶりに集まる同期生達や先生方に楽しんでもらうために様々な仕掛けやイベントを考えました。当時の思い出を少しでも再現できるように、席は高校3年生に在籍していたクラスの出席番号順に座ってもらいました。振り袖やスーツ姿で当時の教室を再現したかのごとく盛り上がりおりました。また、退職された先生や昔お世話になった先生も含め、皆で楽しい時間を過ごしてもらえようように、同期生の円の中に先生の席を用意しました。立食パーティーの中でイベントは、金星会の皆様、尾崎院長、藤本校長、すべての先生に参加していただき、くじびきゲームをしました。あらかじめ会に出席していただく先生にご無理を言いつつ、プレゼントを購入していただきました。先生方が順に、くじを引くと、選ばれた出席番号の卒業生は、恥ずかしながらも嬉しそうに先生と握手をして、はなむけの言葉をいただき、プレゼントを受けとります。プレゼントは、世界を感じさせるコースターや歴史詰まった本のセット、ジャムの詰め合わせやチョコレート、

フォンデュセット等々、個性的で私達を思ってくくださる先生方の想いを感じ、嬉しく思いました。

今この二十歳の会開催において、保護者の方のご支援を忘れてはいけません。「第一樓」という素晴らしい場所を提供してくださった福本様には、本当に感謝しています。実は二十歳の会の日には、同じ場所、ハチミツの会が開催されていたのです。保護者の皆様が集まり、我が子の成人のお祝いと、啓明学院に入学してから今までの軌道を振り返り、話が絶えなかったことでしょう。啓明ファミリーのネットワークの強さとあたたかさの結晶だと思います。

私達も道は違えど、集まれば、啓明学院という学舎で過ごしたあの頃のままいつでも想いを共にできる素晴らしい仲間に出会えた啓明学院を誇りに思うと同時に、私たちの成長を見守り、支えて教えて下さった啓明学院に関わる全ての先生方に感謝の念を抱きます。

成人の日を無事に迎えることができ、今もこうして健康に過ごせているのは家族のお陰です。ここまで育ててくれた親や家族に、これからは私達が恩返しをする番です。立派な社会人になって、それぞれが啓明で学んだ糧を胸に、社会に貢献できるよう、これからも日々努力して精進していきます。どうぞ、見守っていただきたいと思います。この度は、この場をお借りして、50周年代表として想いを述べさせていただきます、ありがとうございます。



60周年

大西慎平

2013年1月14日(月)、啓明学院高等学校第6回卒業生の成人を祝し、神戸ポートピアホテルにて同窓会を開催しました。当日は生憎の天候だったにも関わらず、卒業生・来賓180名に、保護者80名を加え、計260名もの盛大な集いとなりました。卒業生・来賓の出席率が高かったことに加え、大変多くの保護者にも足を運んでいただき、啓明学院ならではの同窓会になったのではないかと思います。わずかな時間ではありましたが、共に青春時代を過ごした旧友、そして多岐にわたって御教授頂いた先生方との再会には、何か自分の原点に戻ったような錯覚を覚えました。卒業後、それぞれが自分の道へと進み、身形や環境を変えて前向きに進んでいる同級生を見て、私たちの卒業パーティー(2011年2月)で放映したビデオの中で、「もっともっと成長して立派な大人になった時にもう一度、みんなで会いましょう」という言葉があったのを思い出しました。今日、

晴れて成人となった200名もの啓明学院OB・OGは、今後も切磋琢磨しながら成長し、ここ啓明学院で培った学びを土台に、社会人としてしっかりと責務を果たしていくだろうと感じました。「もっともっともっと」成長した時、再びこうして一同が集える様、私たちは日々精進して参ります。



2013.1.14成人の日 二十歳の会 於ポートピアホテル

2013年度啓明学院教育振興事業募金協力をお願い

～学院創立90周年を期して～

12年前、共学一期生が入学した時、学院には優れた特色ある私学教育を展開するための諸施設・設備が不十分でした。しかし、当時の女子部、新しい共学部集う皆には、時代と社会の要請に応える夢と設計図を持った学院を再興しようという希望が満ちていました。入学した時より立派な人間になって卒業しよう。入学した時より立派な学院にして卒業しよう。わたしたちの人生も同じだという思いでした。生徒、保護者、同窓、教職員が心と力を合わせて、下の図版に見るような充実を一步一步実現させてきました。それが今、皆さんが見ておられる啓明学院の姿です。

皆さんは今年、学院創立90周年を迎えられます。学院は今年、①情報教室一教室増設、②第2啓明寮（14寮室）新築、③和道教室（一隅庵と三合庵）の庭園整備、併せて④創立記念礼拝、日野原重明先生による記念講演と90周年誌の発行を以って、これら諸計画の完成をさせたいと考えています。

日本文化と精神を体して、世界を視野に人生の役割を果たそうとする少年少女たちに、知・徳・体・聖を兼備した成長をして卒業してほしいのです。皆さまの家計同様、学院は経営合理化を徹底しつつあるものの、私学助成が減額される中、厳しい状況です。教育の質と多様化の充実発展を維持継続させるためにも、学院と一緒に育ててやろうという志ある方の御寄附をお願いする次第です。よろしくお願い申し上げます。（尾崎 八郎）

在主平安

2013年4月

学校法人 啓明学院

理事長・院長 尾崎 八郎

校長 藤本 義和

みんなで学校を育ててきました

Hands and hearts are trained to serve both man below and God above



食堂
2001年9月完成140席
2010年8月厨房機器拡充
パン焼き機設置



メアリーホール300席
2001年9月完成
音楽と表現



プール
2002年7月完成、水泳部誕生
2008年4月エアードーム設置



情報教室 2003年4月情報教室改修
2010年8月同、機器一新
2012年8月全教室無線LAN設置
①2013年4月一教室増設



パルモライブラリー：知育の宝庫
2003年9月増築改修
2013年4月分室音楽室拡充



第二体育館格技場
2004年1月竣工
柔道場・剣道場計256畳



前島キャンプ 2009年4月全面改築
(生徒宿泊240名浴室、グラウンド等
2人乗りカヤック22艇、カッターボート4隻常設)
2013年度瀬戸内市より完全取得



啓明今井会館
(校友会館)
2010年3月31日竣工
友人は生涯の空



チャペル 2006年12月増築800席
2010年10月パイプオルガン設置
2013年4月音響映機器設置
一堂に会し神を賛美する



合宿研修所2011年4月竣工
啓明寮：2012年8月竣工
②第二棟：2014年2月竣工予定
「個」の確立と多様性の享受



和道教室：一隅庵2011年6月竣工
茶室：三合庵2012年8月竣工
③同上庭園：2014年春竣工
日本文化の体験学習



自然科学棟2012年8月竣工
体験と実験をとおして科学的思考力を養う
フーコーの振り子設置

- 母校90周年をお祝いするお気持ちをお献げください。金額は問いません。
- なお、このご寄附は、毎年度任意でお願いしています。

◎振込先

- 寄附金に対しては所得控除（所得税減免措置）が受けられますので、確定申告の時に必要な「寄付金領収書」を発行させていただきます。
- 郵便局備え付けの振込用紙をお使いください。

口座番号 00990-9-0004869

加入者名 学校法人啓明学院

金額 手数料を引いた額

通信欄 『2013年度啓明学院教育振興募金』

『第○回生または○年3月卒』

『氏名(旧姓名)』『〒』『住所』『電話番号』

(※ 通信欄には上記項目を必ずご明記ください)

- 銀行振り込みを希望の方は、啓明学院事務所にTEL下さい。

- 学院事務局にてご寄附を直接受け付けます。

◎2008年度～2012年度にご寄附いただいた方々のご芳名

感謝を以って報告させていただきます。

2008年度	岩井美也子 5回生	村上 茂子 6回生	佐藤 陽子 6回生
	岩井 静子 5回生	澤田佐紀子 13回生	高瀬 佳子 7回生
	伊 小夜子 5回生	高畑 恵子 13回生	坂野 正子 12回生
	谷本 治美 5回生	梅岡寿美子 19回生	山崎佳代子 19回生
	松山 まさ 5回生	前田真之助④ 4回生	梅岡寿美子 19回生
	宮前由紀子 5回生	2010年度	村田 研③ 3回生
	渡 かの 5回生	渡邊カナコ 5回生	2012年度
	渡邊カナコ 5回生	佐藤 陽子 6回生	渡邊カナコ 5回生
	佐藤 陽子 6回生	坂野 正子 12回生	佐藤 陽子 6回生
	高瀬 佳子 7回生	梅岡寿美子 19回生	高瀬 佳子 7回生
	梅岡寿美子 19回生	加藤 勝美 23回生	坂野 正子 12回生
	梅岡 道子 20回生	松本まゆみ 57回生	梅岡寿美子 19回生
		村田 研③ 3回生	合計 4,300,000円
2009年度	2011年度		(敬称略)
渡邊カナコ 5回生	渡邊カナコ 5回生		
佐藤 陽子 6回生	鈴木百合弥 5回生		

☆創立90周年記念「金星会総会」ご案内☆

総会と懇親会を開催致します。懐かしい恩師を囲み、
新旧同窓生と共に楽しいひとときを過ごそうではありませんか。

皆様お誘い合わせの上、多数ご参加下さい。

日時：2013年11月30日(土) 午後4:00～7:00(受付開始 午後3:00)

場所：ホテルオークラ神戸「平安の間」

地下鉄海岸線 みなと元町駅下車 10分

TEL 078-333-3500

会費：7,000円(飲物、税サービス料金含む9,000円相当料理)

新会員 啓明学院7、8回生(2012年、2013年3月卒)は3,000円

プログラム：会食懇親会 報告 アトラクション

申し込み方法：同封の申し込みハガキに必要事項を書き入れ切手を貼り投函下さい。

申し込み締切：11月10日(日)

「創立90周年記念講演」への ご案内

日時：2013年10月17日(木) 午後より

場所：啓明学院 体育館

講演：聖路加国際病院理事長

日野原 重明 先生

卒業生の皆様、お誘い合わせの上、

どうぞご出席下さい。お待ちしております。

詳細は、学院ホームページをご覧ください。

題字 中村倭文子氏(4回生)

No.16

発行

〒654-0131

神戸市須磨区横尾9丁目5番1号

TEL 078-741-1501(代)

FAX 078-741-1512

URL: <http://www.keimei.ed.jp>

E-mail: kinseikai@keimei.ed.jp

啓明学院内 金星会

編集後記

会報16号は啓明学院創立90周年を迎えた感謝と学院の新しい息吹と躍動をお伝えしたいと願って編集いたしました。発行に当たり、原稿の執筆を快くお引き受けくださりご協力いただきました先生方始め、皆様に心より厚く感謝申し上げます。

Homecoming Day のご案内

お誘い合わせの上、どうぞご参加下さい！お待ちしております！！

日時：2013年11月9日(土) 9:30～14:30

啓明学院文化祭の日

場所：啓明学院

市営地下鉄「妙法寺駅」(三宮駅より約15分)下車、駅前より

市バス⑩にて「啓明学院」下車、またはタクシーにてワンメーター

行事：①卒業生専用喫茶室(同窓会喫茶室左隣の教室)で、紅茶又は
コーヒーとケーキを無料サービス

②後輩の文化祭を楽しみ、懐かしい諸先生との再会も！！

★生徒クラブ活動・演技(体育館)・展示・各種模擬店・
PTA・バザー等(各教室、校庭)

お知らせ

★毎年、秋の「啓明学院文化祭」の日を同窓生の Homecoming Day と定めております。同窓生多数のご来校をお待ちしています。

★毎年ご案内は差し上げませんが、文化祭の日程が決まり次第、啓明学院のホームページ中『同窓会』(<http://www.keimei.ed.jp>)に掲載致します。

または啓明学院事務所 (tel.078-741-1506) にお問い合わせ下さい。



★クラス会を開催された方は、その際の写真とコメントを金星会までお届け下さい。Homecoming Day の同窓生の教室で掲示したり、同窓会報に掲載いたします。

